

医療法人 宏和会 岡村記念病院

浅井 耕一 (あさい こういち) 株式会社マルゼン 営業本部 営業開発部 執行役員

家庭用でIHクッキングヒーターの普及が進むなか、業務用でも電化厨房に注目が集まってきている。病院、福祉施設、給食センター、飲食店…厨房環境の改善やコントロールの容易さなど、より良い厨房を目指した取り組みが進んでいる。これら電化厨房の事例をシリーズで紹介していく。
今回は「病院」の事例を取り上げる。

1. はじめに

岡村記念病院は静岡県駿東郡清水町に所在する施設である。心臓外科医であり岡村式超低体温法の創始者である岡村宏医師を中心に、1983年2月1日に静岡県東部地区で初めて、社会復帰のためのリハビリテーションも含め一環した治療の出来る心臓循環器専門病院として開設された。

病床数は65床（一般病床）と小規模ながら、地域に根ざした病診連携を推進しており静岡県でトップレベルの手術の症例数を行っている。

平成20年3月20日の新築移転の際、今後の医療施設を取り巻く経営環境への柔軟な対応を考慮した施設計画としてコスト削減を進める取組と積極的な省エネやエコ環境に配慮し施設自体でオール電化を採用し

た。

今回はコンパクトながら機能的な厨房事例として紹介する。

2. 施設概要

名称	岡村記念病院
所在地	静岡県駿東郡清水町柿田239-1
病床数	病床許可数65床
職員数	150名（非常勤等含む）
敷地面積	5,144.29㎡
建築面積	2429.10㎡延床面積6474㎡
厨房面積	96㎡
竣工	平成20年3月20日
設計	日揮㈱
建築施行	日揮㈱・安藤建設㈱（建築）
設備施行	関電工㈱
厨房施工	㈱マルゼン

3. 事業経緯とコンセプト

設計監理会社の日揮株式会社のもと、厨房施工会社の選定を経て施設・栄養科との打合せを重ね、厨房レイアウトおよび使用機器の選定を行っていった。

施設の設計理念として「快適な療養環境の確保と管理」が掲げられている。

その上での厨房設計コンセプトとしては主に5つのポイントを留意した。

3.1 コンパクトかつ明確な衛生区画

小規模施設のため厨房区画の許容される面積への制限があったが病院食提供のための衛生区画については



写真1 施設全景